

【厚生労働大臣賞：小学生の部】

「ぼくにできること」

神奈川県・相模原市立田名小学校
3年 福井 孝佳 さん

交通じこでぼくのパパは、かわってしまいました。しごとに行くときちゅうで車とぶつかり、両足と左手のほねを折って、足のゆびもなくなりました。かおのほねもおれて、手術したのでかおには大きなきずがあります。そして、一番ひどいのは頭をつよくうったので、元気だったころのパパはもういません。たくさん手術して、たくさんリハビリをして、杖で歩けるようになって、1年たちました。お医者さんから「もうそろそろお家へもどりましょうね。」と、パパはお家に帰ってきました。

ぼくは、パパがさいしょはこわかったです。まるくてぷくぷくしていたパパが半分くらいにやせてガリガリになってしまいました。パパがわらうとぼくもわらっちゃうくらいおもしろいかおだったのに今は、おぼけみたいです。だから、びっくりしてぼくは泣きました。お家へもどってきても、パパは頭がへんになっちゃったみたいで、ぼくやママが寝ているときにお家をぬけだしてどこかに行ってしまいます。ママはさがしに行きます。ぼくはこわくてしかたありません。パパのせいで心ぞうがドキドキして、はきそうになります。ママはだいじょうぶと声をかけてくれます。

ぼくのパパは、かわってしまいました。ママは、病院の先生に相談しました。新しくもらった薬をパパにのませたら、びっくりするくらい良くなりました。でもすぐに、脳がつかれちゃうみたいで、ねたりおきたりしています。今は、パパがおきている時はトランプやウノをして遊びます。足には、そうぐが付いているので、ぼくがお手伝いをしてつけてあげたり、ズボンをはかせてあげたりしています。あんなにこわいと思っていたかおのきずも今は、ぜんぜん平気です。パパといっしょに遊べるようになったし、パパのお手伝いをするのがたのしいです。パパも、ぼくがお手伝いをすると、「ありがとう」ってよろこんでくれます。ありがとうって言われると、うれしくて、もっともっとお手伝いをしたくなります。ママは大変です。毎日、パパのおせわをしています。「ママ、だいじょうぶ？」ときくと、ママはありがとうと、よろこんでくれます。

ぼくは大きくなったら、車のめんきょを取って、パパとママをいろんな所につれて行ってあげようと思います。パパが今までつれて行ってくれた所に今度は

ぼくがつれていってあげたいです。パパとママに言ったら、また「ありがとう」といわれて、うれしいきもちになりました。ぼくにできることがあるんだなって、うれしくなりました。